

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
TEL093-331-6395（交通部安全対策課）

第129号 平成28年11月

「マリンレジャー安全レポート」は、「海の安全レポート」に生まれ変わりました。

BACKNUMBER

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/

★ 釣り中の海中転落に注意してください ★

海釣り愛好者にとって、秋は絶好の釣りシーズンですが、釣り中の事故が増加する時期でもあります。今号では、七管区内で最近起きた釣り中の海中転落事故に関する事例を紹介いたします。

【事件事例①】

夕方、岸壁の上で友人と2人で釣りをしていた中学生は、乗ってきた自転車が倒れ、かごに積んでいたバッグが海に落ちてしまったため、それを回収しようと海に飛び込みましたが、岸壁にハシゴが設置されていなかったため、自力で岸壁に戻ることができなくなりました。友人が近くの交番に助けを求め、警察官や居合わせた通行人によって救助されましたが、低体温症のため入院となりました。

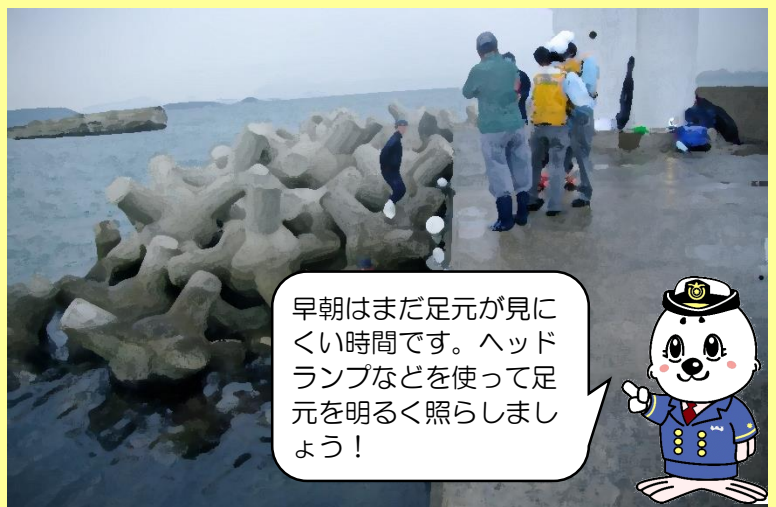


秋季における釣り中の事故発生場所は、

磯場、防波堤、岸壁で約8割！

【事件事例②】

早朝の薄暗い時間に防波堤にて友人と2人で釣りをしていた男性は、誤って足を踏み外し、数メートル下の消波ブロックの上に転落しました。付近にいた釣り人に救助されましたが、大腿部を粉碎骨折する重傷を負いました。



釣り中の事故発生時間帯は**早朝**が多く、

死亡・行方不明を伴う事故は、**早朝や夕方**に多く発生！

★ 小型船舶による機関故障等の海難が相次いでいます ★

9月・10月において小型船舶の機関故障・推進器障害・運航阻害(バッテリー上がりや燃料欠乏などで航走できなくなる障害)の海難事故が多発しています。



この2ヶ月に発生した小型船舶の海難として、機関故障11件・推進器障害4件、運航阻害4件など多発しています。

日ごろからの機器の点検整備を怠ったために、経年劣化によるパイプの腐食やパッキンの腐食等にオイルの漏れでエンジンが起動せず、漂流し他の船舶に定係港まで曳航された事案、また、漁場に到着し、エンジンを停止させ釣りを楽しんでいる間中に、魚群探知機等計器の電源をオンにしていたためバッテリーが上がり航行不能となった事案などがありました。

このような海難を防ぐには、現在自船がどのような状態かを把握し釣りを楽しむ、また発航前点検といった、ちょっとした注意により防げるのではないのでしょうか。

楽しい釣りをを行うためにも「ちょっとした注意」心がけてみてはいかがでしょうか。

☆ 皆さん「観天望気」知っていますか ☆

「観天望気(かんてんぼうきと読みます)」知っていますか? 「女心と何とやら」といいますが、雲や湿度の構成・生物の行動の様子などから天気の変化を予測することができます。

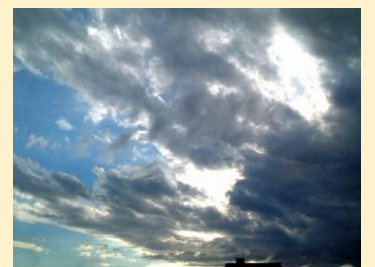
観天望気の例としては、下記のとおり

- ・「夕焼けの次の日は晴れ」・・・地球上の多くの場所では、天気が西から東へ移動するため。
- ・「ネコが顔を洗うと雨」・・・湿度が高いとき、顔や髭に水滴がつきやすくなる。それをネコが払うためとされる。
- ・「おぼろ雲(高層雲)は雨の前ぶれ」・・・温暖前線の接近によって高層雲が現れるため。

などなど、多数見受けられます。船舶を運航するにあたって、気にしてみてもいいのではないでしょうか。(ただしあくまでも昔からの天気の話です。実際は天気予報をご覧ください。)



きれいな夕焼け



おぼろ雲

★ 冬季から春季の低潮位に注意! ★

冬季から春季にかけては、1年で最も潮位が下がる時期となり、海図に記載された水深より実際的水深の方が浅くなる場合がありますので、船舶の乗揚げや磯場で帰り道が海没し帰れなくなるなどに注意してください。

